

南岳大師の云、法華經の讎を見て呵責せざる者は謗法の者也。無間地獄の上に墮んと。見て申さぬ大智者は、無間の底に

墮て彼の地獄の有ん限は出べからず。日蓮此禁を恐るる故に、国中を責て候程に、一度ならず流罪死罪に及

びぬ。今は罪も消え、過も脱なんと思て、鎌倉を去て此山に入て七年也。此山の為体、日本国の中には七道あり。

七道の内東海道十五箇国。其内に甲州飯野御牧三箇郷之内、波木井と申。此郷之内、戊亥の方に入て二十余里の深山

あり。北は身延山、南は鷹取山、西は七面山、東は天子山也。板を四枚つい立たるが如し。此外を回て四の河あり。

北従り南へ富士河、西自り東へ早河、此は後也。前に西より東へ波木井河中に一の滝あり。身延河と名けたり。中天

竺之鷲峰山を此処に移せる歟。将また漢土の天台山の来る歟と覚ゆ。